

平成 28 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

生徒も教職員も生き生きと学び続ける学校

1. 全ての生徒の進路希望の実現を図る
2. 授業・部活動・学校行事等すべての教育活動を通じて、たくましく、しなやかにグローバル社会を生き抜く力を育む
3. 国際教養科を設置する高等学校として、英語教育・国際理解教育の充実を図る

2 中期的目標

1 英語教育、国際理解教育の一層の充実

(1) 国際教養科の取組を発展させ、両学科ともに英語教育の充実を図る

- ア. 英語指導法のさらなる改善と研究成果の発信に努め、英語検定の準2級以上の合格をめざす等資格取得に挑戦させる
- イ. 各種の行事を英語学習の動機付けに活用すると共に、英語を発信する機会を増やす

(2) さまざまな国際理解教育の機会づくり

- ア. 小中・他校との連携を視野に入れた英語・国際理解関連行事の推進
- イ. 海外姉妹校との交流機会を深めると共に、グローバルマインドを持つ生徒を育てる
- ウ. 国際教養科のこれまでの取組を土台にして、学校全体で国際理解教育を推進する

※「学校教育自己診断」の「英語教育・国際理解教育」(H27:91%)で、H30年度まで満足度90%台維持を目標とする

2 すべての生徒の進路希望実現

(1) わかる授業の実践・学習への動機づけ等の取組による学力の向上

- ア. 三年間で身に付けさせたい学力をもとに、計画的・効果的な授業を行うとともに、自学自習の習慣を定着させる
- イ. 三年間を見通した進路指導計画に基づき、早い時期から進路を意識させ、自ら進路を切り拓く力をつける
- ウ. 「総合的な学習の時間」等を活用し、「花園キャリアプラン」に基づき、視野を広げ、明確な目標意識を育てる
- エ. すべての教育活動を通じて、自分の言葉で伝える・相手の話を聞く・意見をまとめて発表する力を伸ばす

(2) 組織的な魅力ある授業づくりの取り組みによる学校力の向上

- ア. 授業アンケートの結果を踏まえた改善を進め、互見授業・研修・研究授業等を通じて組織的な取組を行い、同僚性を高める
- イ. 双方向の授業をこころがけ、「わかる授業」「生徒の力をのばす授業」を実践する
- ウ. ICTの活用等の授業の工夫や教材の活用などを教科を超えて共有できる体制をつくる

(3) 学習環境の改善

- ア. 挨拶の励行などのマナーや遅刻防止・TPOに合わせた服装等の指導を推進し、学習に集中する姿勢を強化する
- イ. 授業の「場」を意識し、より集中して学習できる環境を維持する
- ウ. 校内美化を推進し、落ち着いて学習に取り組むための清潔、快適な学習環境を保つ
- エ. 施設の改善や教科指導などの教育活動に生かせるよう、限られた予算を効率よく使い、節減に努める

※H30年度までに「学校教育自己診断」の生徒：「授業への集中」(H27:29%)を10%アップ、「家庭での学習習慣」(H27:43%)で40%台後半を目標とする。さらに、「進路意識の確立」(H27:77%)で、80%台をめざす。また、教員の次の各項目のH27年度の「そう思う」の割合：「家庭学習の習慣」(2%)・「将来をまじめに考えている」(5%)で10%台を目標とする。また、最終の決定進路への生徒の満足度「とても満足」(H27:45.7%)の50%台を目標とする。

3 行事や部活動等の多様な活動の充実

(1) 部活動の活性化

- ア. 学校生活に軸足を置き、コミュニケーション力、調整力を養い、良好な人間関係を構築する力を育む
- イ. 学校見学会等を含めた中学生や地域との交流を充実させる

(2) 生徒会活動の活性化

- ア. 学校行事の活性化を通じて生徒の自尊感情を高めるとともに、自主・自律の力を育む
- イ. ボランティア活動や国際交流、地域との交流を通じて豊かな心を育てる

※H30年度までに「学校教育自己診断」の「生徒会活動」(H27:76%)で、積極的参加80%をめざし、「部活動が活発」(H27:88%)で80%台後半維持、また、「友好的な人間関係の構築」(H27:そう思う52%)を60%台を目標とする。

4 学校力の向上

(1) 組織で課題に取り組む体制づくり

- ア. 運営委員会を中心に、課題の全体化、情報の共有、活発な議論を推進し、教職員一人ひとりが学校経営参画意識を持つ

(2) 広報活動の充実

- ア. 学校の魅力を発信するWebページの充実と、説明会の充実や中学校訪問、「花園PRESS」の活動など学校全体で推進する

※H30年度までに「学校教育自己診断」の「教職員の情報共有」(H27:45%)を60%、「各組織の連携」(H27:46%)を50%台、「中学生へ情報発信」(H27:そう思う17%)を20%台を目標とする。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 28 年 11 月実施分]	学校協議会からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・「花園高校への満足度」生徒92%・保護者96%、「国際交流等の活発度」生徒100%・保護者93%と高水準を維持している。また「行事への積極参加」では、例年保護者・教員の肯定感が90%台なのに生徒が70%台と低めだったが、今年度は80%に上昇した。 ・懸案の「家庭学習」は、昨年度生徒・保護者とも50%を切っており50%以上が目標だったが、生徒50%・保護者49%に上昇した。ただまだまだ大きな課題である。 ・学校力の向上では、「情報の共有」が45%⇒51%、「委員会の機能」が69%⇒75%と上昇したが、「分掌と学年等の連携・機能」は46%⇒40%で、引き続き改善に努めたい。(数字はすべて「肯定率」) 	<p>第1回(5月31日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路分析で学部・学科などの種類別での分析もあれば、年度ごとの進路先の傾向などがわかるのではないかと。 ・幼稚園、小学校などとの交流は良い取り組みである。より広い交流を期待する。 <p>第2回(11月31日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習より学校の自習室や塾の自習室という学習形態も、授業以外の学習と言える。生徒への問い方を考えたらよいのでは? ・授業参観をして昨年度より数段よくなっているし、活発に発言している生徒の姿勢は素晴らしい。 <p>第3回(2月9日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業力向上・進路実現・キャリア教育・生徒の自主活動・地域連携等、多岐に渡り着実に取組を進めている。次年度も引き続き、取組の定着・発展をさせることを期待する。

本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 英語教育、国際理解教育の一層の充実	(1) 英語教育の充実 ア. 英語資格取得への挑戦 イ. さまざまな国際理解教育の機会づくり ウ. 国際交流や校種間連携の促進 エ. 英語力向上に向けた指導力アップ	ア. 英語資格取得への挑戦 ・校内指導体制の維持、英検対策講座等実施 ・準2級以上受験の促進(H27:470人)と合格者の増加(H27:154人) イ. さまざまな国際理解教育の機会づくり ・多様な異文化理解行事の実施 ・留学や国際交流活動参加への支援 ・英語で発信する機会を増やす ウ. 国際交流と校種間連携の促進 ・姉妹校等との交流機会づくり ・外国修学旅行生や留学生の受入れ ・地域の中学校・大学等と連携した英語力の成果発表の充実 エ. 英語力向上に向けた指導力アップ ・NETとの効果的な授業の追及 ・CAN-DOリストのバージョンアップ	ア. 英語資格取得への挑戦 ・英検対策講座等(10回以上維持 H27:11回) ・英検(準2級以上受験400人台、合格者数維持) イ. さまざまな国際理解教育の機会づくり ・国際理解行事の充実(年2回 H27:1回) ・留学説明会の実施 ・スピーチ大会やプレゼン等の学習成果発表の充実(H27:4回維持 内容の充実) ウ. 国際交流と校種間連携の促進 ・姉妹校等とのWeb交流(4回 H27:2回) ・姉妹校相互交流や外国高校生の受入れ等(H27:4回維持) ・「花園イングリッシュチャレンジ」への参加者数(H27:19人維持) エ. 英語力向上に向けた指導力アップ ・NETを交えた研究授業の実施(2回 H27:1回) ・より生徒の実態にあったリストの完成	ア英語資格取得への挑戦 ・英検対策講座等11回(英検6回、TOEIC4回)(◎) ・英検準2級以上受験350人(2年普通科修学旅行日程との重なりのため減)合格者数168人:準1級合格者含む(合格率は48%で昨年の34%より上昇)(◎) ・新たに国際教養科1・2年英語学力調査受験及び1年で即興型ディベート体験(◎) イ国際理解教育 ・行事年2回・留学説明会実施(○) ・成果発表 両学科1・2年でスピーチ大会等実施、語学研修報告英語で実施等6回実施(◎) ウ国際交流 ・Web交流 オーストラリアは、先方の担当者が退職し、めどがたたず。他校との実施を検討中。(△) ・姉妹校交流、ウクライナ留学生、ネパールより視察受け入れ(計4回)留学生4名受け入れ(○) ・イングリッシュチャレンジ参加者20人(◎) ・小坂幼稚園との英語交流(◎) エ英語指導力向上 ・NETとの研修2回(○) ・即興型ディベート研修参加3名(○) ・リストの改善(○)
2 すべての生徒の進路希望実現	(1) 学力の向上 ア. 自学自習の習慣の確立 イ. 組織的な授業力向上 ウ. 学習環境の改善	ア. 自学自習の習慣の確立 ・生徒につけたい力とその方法を教科で話し合い、全体で共有し、学力向上に向けた取組(朝学、補講習、定期考査、実力テストや模試の活用等も含む)を効果的に行う ・「花園キャリアプラン」を実行しながら、改良していく イ. 組織的な授業力向上 ・互見授業・研究授業を促進する ・花園の授業に求められる条件の確認 ウ. 学習環境の改善 ・遅刻防止・服装・マナー等も含めた生徒指導を学年だけでなく全体で取組む ・授業の「場」作りを徹底する ・校内美化の取組強化 ・クリーンアップキャンペーンの実施	ア. 自学自習の習慣の確立 ・教科等での協議とその内容の共有(年3回以上) ・朝学の検証(3年間の総括実施) ・「花園キャリアプラン」の改良(次年度版の完成) ・学校教育自己診断「家庭での学習習慣」45%(H27:43%)「進路意識の確立」78%(H27:77%)に向上 イ. 組織的な授業力向上 ・互見授業全教員の参加 研究授業各教科で実施 ・花園の授業についての研修2回実施(H27:1回) ・学校教育自己診断「授業に集中」に「そう思う」生徒30%以上(H27:29%)「授業の工夫」80%台維持「総合満足度」90%台維持(H27:92%) ウ. 学習環境の整備 ・遅刻防止週間(2回)、遅刻数の減少(前年比-5%)(H27:4,148) ・保健委員の点検評価(各学期1回維持)とクリーンアップ毎月実施	ア自学自習習慣 ・共有1回(△) ・朝学検証(◎) ・キャリアプラン:新たな視点で改良(○) ・「家庭での学習習慣」49%(H27:43%) 「進路意識確立」81%(77%)(◎) イ授業力向上 ・互見授業44/60(残り2週間)(○) 研究授業各教科実施(◎) ・授業についての研修(職員会議での共有2回のみ)(△) ・「授業に集中」37%(29%)「授業の工夫」82%(80%)「総合満足度」92%維持(◎) ウ学習環境の整備 ・遅刻防止週間2回、遅刻数2,795 前年度比-33%大幅減(◎) ・美化点検各学期1回(○) クリーンアップ(恩智川堤防含む)毎月実施。東大阪市より表彰(◎)
3 行事や部活動等の多様な活動の充実	(1) 部活動の活性化と生徒会活動の充実 ア. 部活動の活性化 イ. 生徒会活動の充実	ア. 部活動の活性化 ・体験入部期間の改善などを通して入部率の向上を図る。また活動内容を校内で共有する。 ・学校見学会を含めた中学生等との部活動交流の充実 イ. 生徒会活動の充実 ・花高祭の改革 ・HRの充実による参加意識の強化 ・地域との連携の促進	ア. 部活動の活性化 ・1年生の入部率(68%維持 H27:68.2%) ・中学生参加数(200人維持 H27:260人) ・部長・マネージャー会議の実施 月1回 イ. 生徒会活動の充実 ・自己診断「行事への積極的参加」70%台維持(H27:76%) ・様々な連携活動により多くの生徒の参加を促す。(生徒会、クラブを含め5部以上 H27:5部)	ア部活動の活性化 ・入部率66.4%(68.2%)(△) ・参加数300人(260人)(◎) ・会議の実施月1回(○) イ生徒会活動 ・花高祭改革 応援団練習の正常化と文化祭野外ステージの改善(◎) ・「行事参加」80%(76%)(◎) ・参加6部および花園小学校との環境教育連携、地域清掃ボランティア参加(のべ100人)東大阪市より表彰(◎)

4. 学校力の向上	<p>(1) 組織で課題に取り組む体制づくり</p> <p>ア. 学校経営参画意識の向上</p> <p>(2) 広報活動の充実</p> <p>ア. 広報活動の発展</p>	<p>ア. 学校経営参画意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 運営委員会を中心に、課題の全体化、情報の共有を図り、PT や WG を駆使し、迅速な課題の解決を図る 首席を中心として学年間・学年と分掌等の連携、情報共有促進 <p>ア. 特色ある広報活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の魅力を発信する「花園 PRESS」による広報の強化 ブログによる生徒会活動、部活動の情報発信 広報活動の組織化 	<p>ア. 学校経営参画意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 分掌のルーティーン業務の円滑実施 学校教育自己診断 「職員間の情報共有」 47% (H27:45%) 「各組織の連携」 48% (H27:46%) をめざす <p>ア. 広報活動の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> 「花園 PRESS」の活動評価度 (78%以上 H27 81%) 生徒会ブログ更新 (各学期 1 回以上維持) 校外広報活動への教員の参加のべ 70 名台 (H27 のべ 69 人) 	<p>ア学校経営参画意識</p> <ul style="list-style-type: none"> 「円滑実施」問題点を解決しながら整理・マニュアル化進む(◎) 「情報共有」 51%(47%) (◎) 「組織の連携」 40%(48%) (△) <p>ア広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 「花園 PRESS」活動評価 88%(81%) (◎) ブログ更新(◎) 広報委員会の設置(○) 教員の参加のべ 107 人 (69 人) (◎)
-----------	---	---	---	--